

(表1) 市民1人当たりの歳入(財源)の内容

| 項目 | 市民1人当たりの歳入 | 項目の説明 |
|-----------|------------|--|
| 市税 | | |
| 個人市民税 | 48,117円 | 個人に課せられる税で、市税全体の32.3%を占めています。 |
| 法人市民税 | 10,470円 | 法人に課せられる税で、市税全体の7.0%を占めています。 |
| 固定資産税 | 64,196円 | 土地・家屋・償却資産に課せられる税で、市税全体の42.9%を占めています。 |
| 都市計画税など | 26,615円 | 都市計画税の他、事業所税、市たばこ税などで、市税全体の17.8%を占めています。 |
| 計 | 149,398円 | |
| 地方交付税など | 69,265円 | 全国市町村の行政水準の均衡と財源の安定化のため、国税などから交付されるものです。 |
| 分担金・使用料など | 14,471円 | 施設の利用料など、特定の利益を受ける人から徴収するものです。 |
| 国・府支出金 | 134,911円 | 特定の事務事業に対し、国または大阪府から交付される補助金です。 |
| 市債 | 39,629円 | 公共施設の建設費に充てるためなどの借入金です。 |
| その他 | 16,464円 | 主に財産収入などです。 |
| 合計 | 424,138円 | |

(表2) 市民1人当たりの歳出(行政経費)の目的別内容

| 項目 | 市民1人当たりの歳出 | 項目の説明 |
|-----|------------|--|
| 総務費 | 46,597円 | 行政の共通的な事務管理に要する費用で、この中には戸籍・住民票の事務や税の賦課徴収の費用が含まれます。 |
| 民生費 | 229,959円 | 高齢者福祉、児童福祉、生活保護などの社会福祉に係る費用です。 |
| 衛生費 | 26,164円 | ごみの処理費用や予防接種などの保健衛生費などです。 |
| 土木費 | 27,941円 | 市の道路・公園・住宅や都市基盤の整備の他、緑・花推進や交通安全対策などの費用です。 |
| 教育費 | 23,674円 | 主に小・中学校などの学校教育の費用です。 |
| 公債費 | 47,586円 | 借入金の元金利息の返済などです。 |
| その他 | 17,902円 | 議会運営、商業・農業振興、消防に係る費用です。 |
| 合計 | 419,823円 | |

備 平成29年3月31日現在人口143,829人

一般会計の実質収支は3億8千80万円の黒字となりました。平成27年度の実質収支は19億1千36万円の黒字でしたが、平成28年度の実質収支から平成27年度の実質収支を差し引いた平成28年度の単年度収支は、15億2千956万円の赤字となっています。平成28年度の歳入総額は、前年度と比較して約28億3千万円減少しています。その主な要因としては、事業費の減少に伴い市債が約23億2千万円減少したこと、地方交付税・交付金などが約7億円減少したことが挙げられます。一方、歳出総額も、前年度と比較して約13億2千万円減少しています。主な要因としては、学校整備事業など、事業費が前年度と比較して約15億4千万円減少したことが挙げられます。その他、例年最も構成比率が大きい扶助費については、約2億8千万円減少しています。

各会計別決算見込みの状況

国民健康保険事業会計は、単年度収支では4億854万円の黒字となっており、実質収支では11億9千479万円の黒字となりました。後期高齢者医療事業会計は、実質収支は2千420万円の黒字となっていますが、この黒字の一部は、制度上翌年度に大阪府後期高齢者医療広域連合へ納入することとなり、実質的には収支均衡を保っております。

なお、水道事業会計と下水道事業会計を除く全ての会計での平成28年度の実質収支は、15億9千979万円となり、単年度収支は11億2千222万円の赤字となっています。

平成28年度各会計別決算見込み一覧表

| 会計名 | 歳入(A) | 歳出(B) | 収支差引(A)-(B)(C) | 繰り越すべき財源(D) | 実質収支(C)-(D)(E) | 前年度実質収支(F) | 単年度収支(E)-(F) |
|-------------|-------------|-------------|----------------|-------------|----------------|------------|--------------|
| 一般会計 | 610億335万円 | 603億8,275万円 | 6億2,060万円 | 2億3,980万円 | 3億8,080万円 | 19億1,036万円 | △15億2,956万円 |
| 特別会計 | | | | | | | |
| 国民健康保険事業会計 | 214億4,021万円 | 202億4,542万円 | 11億9,479万円 | - | 11億9,479万円 | 7億8,625万円 | 4億854万円 |
| 後期高齢者医療事業会計 | 17億6,381万円 | 17億3,961万円 | 2,420万円 | - | 2,420万円 | 2,540万円 | △120万円 |
| 小計 | 232億402万円 | 219億8,503万円 | 12億1,899万円 | - | 12億1,899万円 | 8億1,165万円 | 4億734万円 |
| 合計 | 842億737万円 | 823億6,778万円 | 18億3,959万円 | 2億3,980万円 | 15億9,979万円 | 27億2,201万円 | △11億2,222万円 |

備 実質収支=収支差引-繰り越すべき財源=いわゆる累積黒字のこと。
単年度収支=実質収支-前年度実質収支=当該年度の収支をみるもの。
小計・合計欄の数値は、端数処理の関係上、各会計の合計と一部合わない箇所があります。

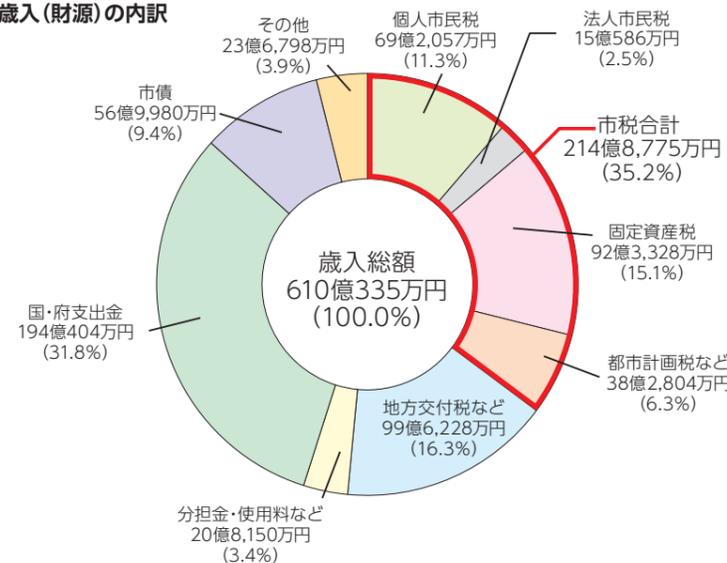
財政状況の公表

平成28年度一般会計等決算見込みの概要

市政の運営経費は、市民の皆さんに納めていただいた税金で大部分が賄われています。この税金がどこでどのように使われているのか、財政状況がどのようになっているのかを知っていただくために、年に2回財政状況を公表しています。今回は、平成28年度の決算見込みと平成29年度(4月~7月末)の予算執行状況などをお知らせします。

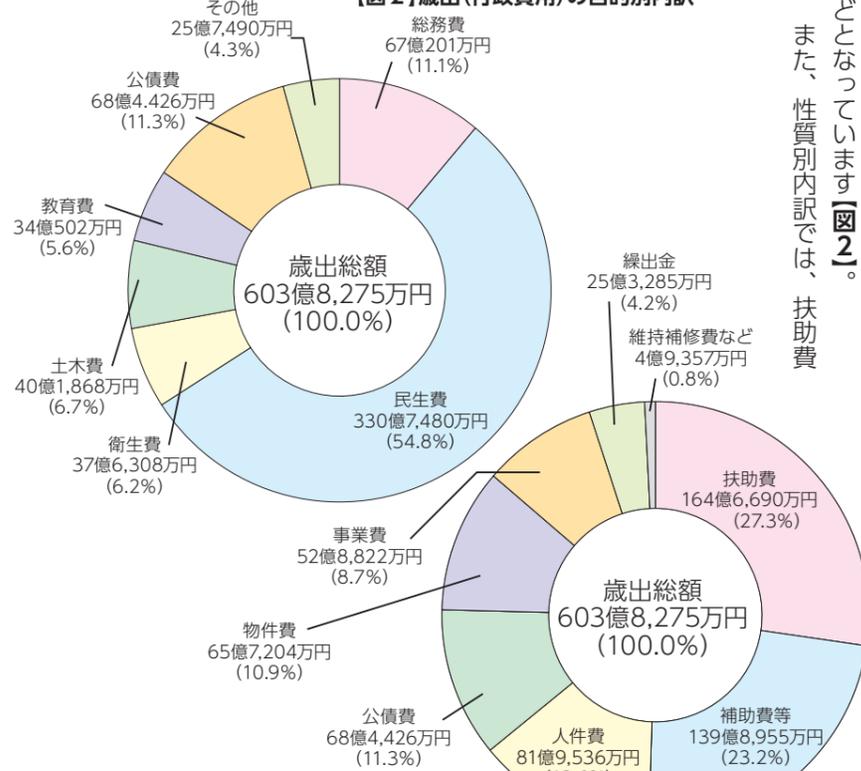
平成28年度一般会計

【図1】歳入(財源)の内訳



〔歳入〕
総額は、610億335万円で、主なものは、市税による収入が214億8千775万円(35.2%)、国・府から交付された支出金が194億404万円(31.8%)、国税などから再配分された地方交付税・地方消費税交付金などが99億6千228万円(16.3%)などとなっています(図1)。歳入総額を市民1人当たりに換算すると42万4千138円となります(表1)。

【図2】歳出(行政費用)の目的別内訳



〔歳出〕
総額は、603億8千275万円で、目的別の内訳は民生費、衛生費、土木費といった生活により密着した事業に使う経費が408億5千656万円(67.7%)と約7割を占め、総務費が67億201万円(11.1%)、小・中学校などの教育費が34億502万円(5.6%)、市債の償還による公債費が68億4千426万円(11.3%)などとなっています(図2)。また、性質別内訳では、扶助費

が164億6千690万円(27.3%)と最も多く、次いで補助費等が139億8千955万円(23.2%)となっています。また、人件費は81億9千536万円(13.6%)、事業費は52億8千822万円(8.7%)などとなっています(図3)。歳出総額を市民1人当たりに換算すると41万9千823円となります(表2)。

【図3】歳出の性質別内訳